



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社
コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理本部長 (氏名) 村田 良伸 TEL 03-3438-2291
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	40,008	9.3	1,495	△23.1	3,965	9.0	2,445	50.7
2023年3月期第1四半期	36,614	1.8	1,945	△22.5	3,637	8.3	1,623	△20.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,376百万円 (36.8%) 2023年3月期第1四半期 6,854百万円 (114.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	50.79	—
2023年3月期第1四半期	33.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	202,135	120,018	54.8	2,298.20
2023年3月期	193,232	112,930	54.0	2,169.53

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 110,769百万円 2023年3月期 104,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	81,200	6.5	2,500	△33.6	5,500	△12.3	3,300	△6.7	69.38
通期	166,600	5.9	8,800	△5.0	13,000	5.9	7,300	7.4	157.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	49,757,821株	2023年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,559,464株	2023年3月期	1,627,625株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	48,147,029株	2023年3月期1Q	49,123,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、世界的にはインフレの高止まりと金融引き締め政策が下押し要因となり、総じて緩やかな景気減速で推移しました。

一方、国内においては、サービス消費の拡大やインバウンド需要により、回復基調となりました。

このような事業環境のもと、当社事業においては増収となりましたが、調達価格の高騰等により営業利益は減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は400億8百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は14億95百万円（前年同期比23.1%減）、為替差益13億40百万円、持分法による投資利益9億26百万円を計上したことにより、経常利益は39億65百万円（前年同期比9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億45百万円（前年同期比50.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、セグメントごとの利益又は損失の測定方法を変更しております。そのため、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の測定方法により組み替えた数値で比較しております。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、世界の自動車生産台数が緩やかな回復基調となり、当セグメントの売上高は208億7百万円（前年同期比2.3%増）となりました。利益面では、原材料価格や電力料の高騰等により営業損失4億59百万円（前年同期は営業利益5億40百万円）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、海外における顧客の操業が回復したことにより、当セグメントの売上高は89億94百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は4億93百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

[半導体業界向け事業]

当事業は、メモリを中心に半導体業界減速による投資延期等の影響を受けたものの、長納期化していた部品の販売により、当セグメントの売上高は46億10百万円（前年同期比26.6%増）、営業利益は3億61百万円（前年同期比196.6%増）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、中国新造船需要の増加と欧州向け修繕需要が継続し、当セグメントの売上高は35億98百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は8億39百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、人工衛星向け仕入品の販売増により、当セグメントの売上高は19億97百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は2億53百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は2,021億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ89億2百万円増加いたしました。これは主として有形固定資産が33億82百万円、棚卸資産が23億21百万円、投資有価証券が21億85百万円増加したことによるものであります。

[負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は821億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億14百万円増加いたしました。これは主として短期借入金が増加した一方、長期借入金が増加した一方、賞与引当金が減少したことによるものであります。

[純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は1,200億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億87百万円増加いたしました。これは主として剰余金の配当により22億39百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を24億45百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が59億5百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 82,200	百万円 3,300	百万円 4,600	百万円 2,800	円 銭 59.02
今回修正予想（B）	81,200	2,500	5,500	3,300	69.38
増減額（B－A）	△1,000	△800	900	500	－
増減率（％）	△1.2	△24.2	19.6	17.9	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （2023年3月期第2四半期）	76,276	3,763	6,271	3,538	72.24

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 168,000	百万円 9,500	百万円 12,400	百万円 7,300	円 銭 156.15
今回修正予想（B）	166,600	8,800	13,000	7,300	157.03
増減額（B－A）	△1,400	△700	600	－	－
増減率（％）	△0.8	△7.4	4.8	－	－
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	157,380	9,264	12,277	6,796	139.82

修正の理由

自動車・建設機械業界向け事業が当初予想より回復が遅れ、売上・利益ともに下回って推移しており、第2四半期までこの傾向が続く見通しです。第3四半期以降は当初予想並みの水準が見込まれ、通期では営業赤字を解消する見通しです。

また、船用業界向け事業が好調に推移しているものの、半導体業界向け事業も当初予想を下回る見通しであり、連結業績は売上高・営業利益ともに当初予想を下回る見通しです。経常利益以下については、第1四半期において為替差益を計上したこと等により当初予想を上回る見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,581	29,803
受取手形、売掛金及び契約資産	32,542	33,184
電子記録債権	5,073	5,378
商品及び製品	11,606	12,234
仕掛品	8,298	8,769
原材料及び貯蔵品	12,961	14,183
その他	6,753	7,682
貸倒引当金	△105	△112
流動資産合計	107,712	111,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,015	25,726
機械装置及び運搬具（純額）	21,322	21,863
その他（純額）	14,541	16,672
有形固定資産合計	60,879	64,261
無形固定資産		
のれん	829	728
その他	1,898	1,900
無形固定資産合計	2,727	2,629
投資その他の資産		
投資有価証券	14,733	16,919
その他	7,289	7,306
貸倒引当金	△109	△106
投資その他の資産合計	21,913	24,119
固定資産合計	85,519	91,010
資産合計	193,232	202,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,655	9,864
電子記録債務	2,590	2,586
短期借入金	13,624	15,872
未払法人税等	1,855	1,370
賞与引当金	2,818	2,158
その他の引当金	655	480
その他	13,258	15,940
流動負債合計	44,457	48,272
固定負債		
長期借入金	20,508	18,343
引当金	485	539
退職給付に係る負債	13,120	13,158
その他	1,730	1,804
固定負債合計	35,844	33,844
負債合計	80,302	82,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,819	11,819
利益剰余金	75,824	76,030
自己株式	△1,884	△1,805
株主資本合計	96,249	96,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518	650
為替換算調整勘定	7,310	13,216
退職給付に係る調整累計額	340	366
その他の包括利益累計額合計	8,170	14,233
非支配株主持分	8,510	9,248
純資産合計	112,930	120,018
負債純資産合計	193,232	202,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	36,614	40,008
売上原価	28,036	31,043
売上総利益	8,577	8,964
販売費及び一般管理費	6,632	7,468
営業利益	1,945	1,495
営業外収益		
受取利息	83	118
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	319	926
為替差益	1,086	1,340
その他	291	197
営業外収益合計	1,791	2,595
営業外費用		
支払利息	92	114
その他	7	10
営業外費用合計	99	124
経常利益	3,637	3,965
特別利益		
固定資産売却益	20	4
特別利益合計	20	4
特別損失		
固定資産売却損	2	3
固定資産除却損	4	10
特別損失合計	7	14
税金等調整前四半期純利益	3,650	3,955
法人税等	1,636	1,125
四半期純利益	2,014	2,830
非支配株主に帰属する四半期純利益	390	384
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,623	2,445

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,014	2,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	129
為替換算調整勘定	3,907	5,052
退職給付に係る調整額	107	47
持分法適用会社に対する持分相当額	788	1,316
その他の包括利益合計	4,840	6,546
四半期包括利益	6,854	9,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,002	8,508
非支配株主に係る四半期包括利益	851	867

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	20,340	7,571	3,640	3,275	1,785	36,614	—	36,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	28	—	0	—	63	△63	—
計	20,375	7,600	3,640	3,275	1,785	36,678	△63	36,614
セグメント利益	540	408	122	864	8	1,943	1	1,945

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	半導体 業界向け 事業	船用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	20,807	8,994	4,610	3,598	1,997	40,008	—	40,008
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	37	—	0	—	82	△82	—
計	20,850	9,032	4,610	3,599	1,997	40,090	△82	40,008
セグメント利益又は損失(△)	△459	493	361	839	253	1,488	7	1,495

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社共通費の配賦方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報においても変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。